

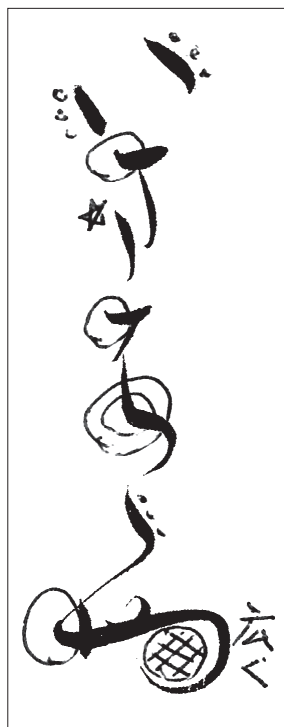
宮 絢子先生担当 半紙臨書課題

(2月22日締切) 出品料440円

ますしきし
升色紙

第一回

- 1、字句「い万者、や
- 2、形式「半紙たて使用。大筆で一行に臨書し、左余白に本文に添う大きさで「〇〇臨」と入れる。



- 3、概観「升色紙」「寸松庵色紙」「継色紙」を平安期の三色紙と呼ぶ。今回の課題「升色紙」はもともと冊子装であったものを『升』のような方形に切り取って鑑賞用にしたところから名づけられた。現存するものは約30首で、殆んどが清原深養父（清少納言の曾祖父）の歌である。藤原行成筆と言われるが不明である。
- 4、各字のポイント『充分な筆圧と転折のめりはり①』

漢字臨書の第一歩は法帖の文字を拡大臨書し、入筆の角度・筆圧の変化・字形などを理解していく。仮名臨書も同じことである。古筆を大筆でゆっくりと臨書し、仮名の流麗さにつながる筆圧やリズムを、より理解したい。筆圧をかけて入筆。…で「笹の葉」のようなふくらみを出し、ゆっくり「万」へ。

万 前を受け、○で軽く止まって右へひく。☆で軽く当たって「者」へ。者 前を受け、○で軽く止まって右へ。◎運筆速度と筆圧の変化に注意を。…「笹の葉」のような筆圧の変化の妙を。

や ○強い当たり方と筆圧の変化を充分体得。

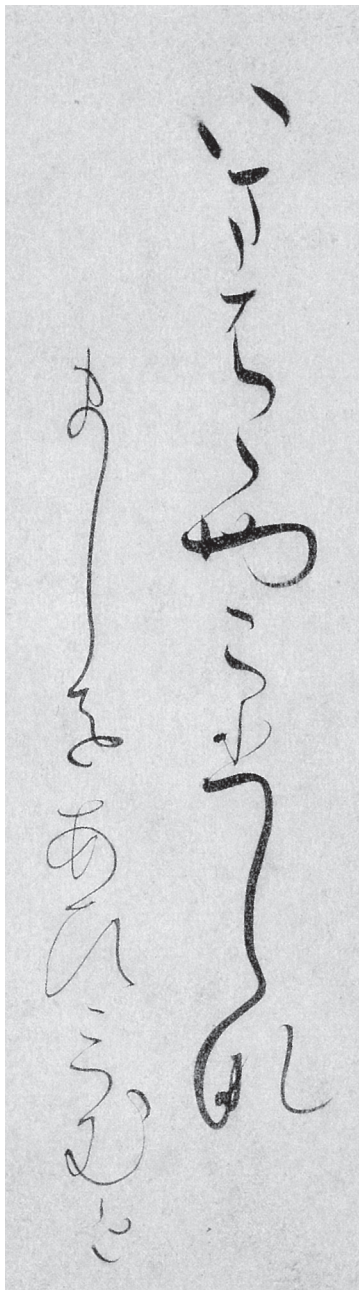
一字書課題

(二月二十二日締切)

琴

- (1)書体自由 (2)半紙タテ
- (3)落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4)出品料 四四〇円
- (5)バーコード券の余白に「一字書」と記入

条幅随意参考



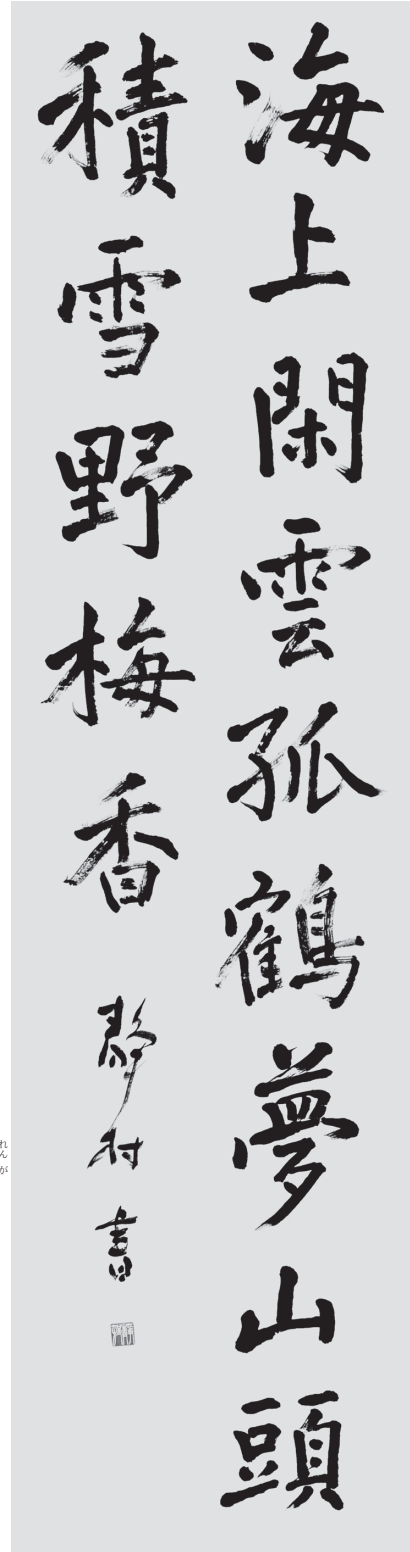
(二玄社)

『い万者、やこ悲し那ましをあひ三むと』の三句を、半切二行におさめる。墨量と筆圧の変化に注意して臨書する。調和を考えて「〇〇臨」と入れる。

※抜粋可。条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。半紙随意部（無料）にも出せます。条幅部に出品する場合はバーコード券余白に「条臨」と記入。

A 鈴木静村先生書

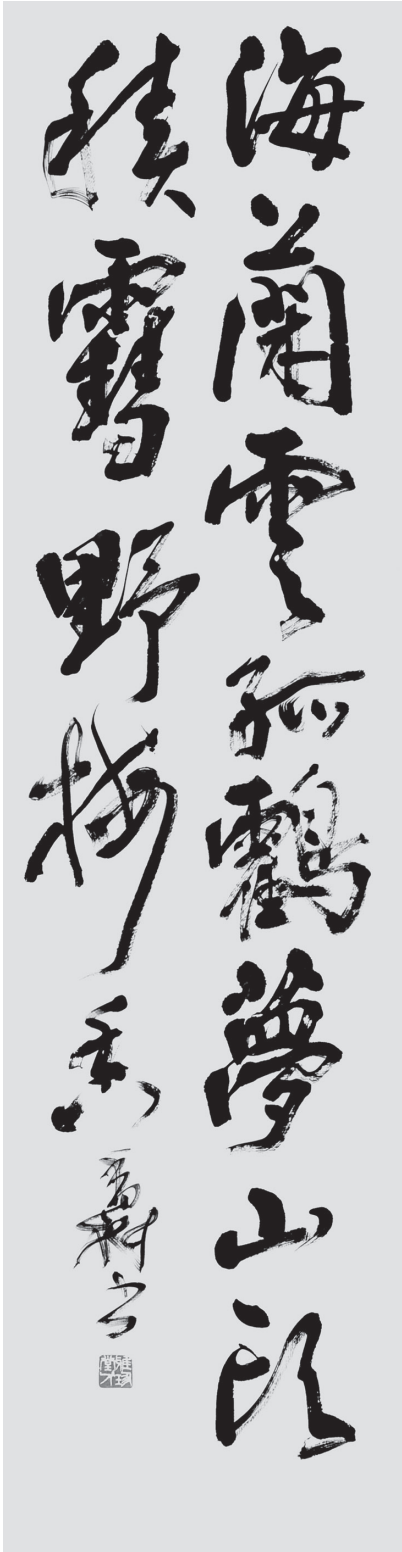
海上閑雲孤鶴夢 山頭積雪野梅香 (唐仲冕)
海上の閑雲孤鶴の夢、山頭の積雪野梅の香。



B

高橋香樹会長書

海 旁の形は古典に多い。「母」二点、古典ではほとんど「ノ」。鶴 偏の形は多い、字典で。「鳥」の連火^{れんか}「一」も可。夢 私の好み、字典参照。香 五画目、止めずに払って可。落款、硬さを解し行書で。



今回は、行草体七字ずつとし、連綿を使用しない単体の作としました。私は、直線による作になってしまいがちな為、直線と曲線との融合を考えました。また、行草においては、筆の面の遣い方を意識した運筆が大切だと考えています。墨継ぎは、「夢」と「野」。

訳：海の上を往来する静かな雲に二羽の鶴の夢がしのばれ、山の上の積雪には春知り顔に梅が咲くのである。

予告 昇試第一部漢字 (三月二十二日締切)

霞開水閣桃千樹

山吐蛾眉月半輪 (汪道昆)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部かな課題参考

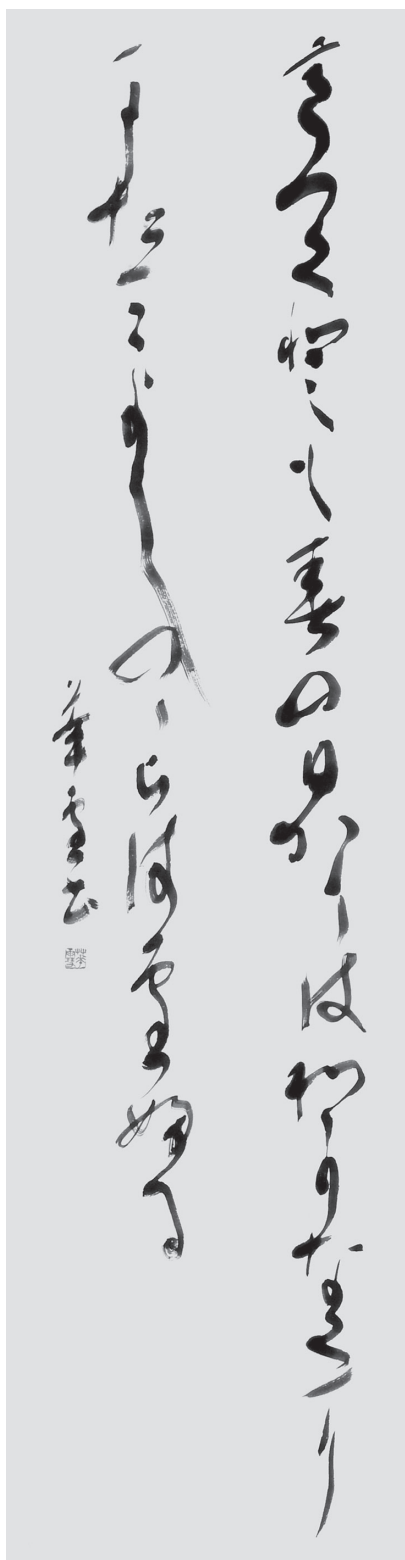
(二月二十二日締切)

A

平岡華雪先生書

いづくとも春のひかりはわかなくにまだみ吉野の山は雪ふる (三十六歌仙 意つ久登も春の日かりは和可な久耳万た三よしの、山は雪婦る

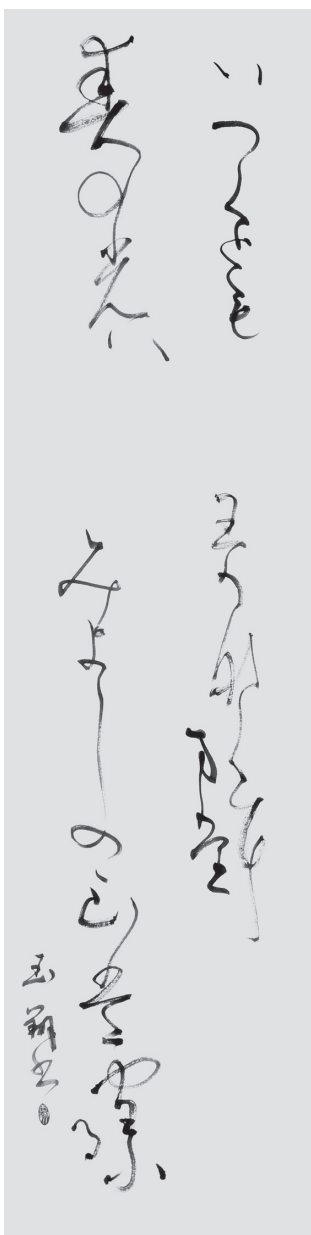
おむしろうちのみつね 凡河内躬恒



B

福田玉翔先生書

いつくと毛春の光八王可那く耳万堂みよしの、山盤雪ふる



学び方

今月は上下二段の構成にしました。半切短歌一首には時々見かける配置です。二行書きより少し文字が小さくなりませんが、余白の効果を意識して書いてみました。色々と草稿を練って、先ずはご自分独自の物を試作してみてください。その訓練をしますと、手本に頼らなくても創作が可能になります。

凡河内躬恒は、平安時代前期の歌人で、三十六歌仙の一人です。また、古今和歌集の選者四人の中の一人で、紀貫之に次ぐ第二位の歌数の入首です。紀貫之とは親しい友情関係があったようです。即興の歌人と言われ、高校の教科書などで一番知られている躬恒の歌は、小倉百人一首にも収録されている「心あてに折らばや折らむ初霜の置き惑わせる白菊の花」でしょう。新春の歌として、軸装して床の間に飾りたい歌題です。

予告 昇試第一部かな (三月二十二日締切)

春の野に霞たなびきつら悲しこの夕かげに鶯鳴くも (万葉集 大伴家持)

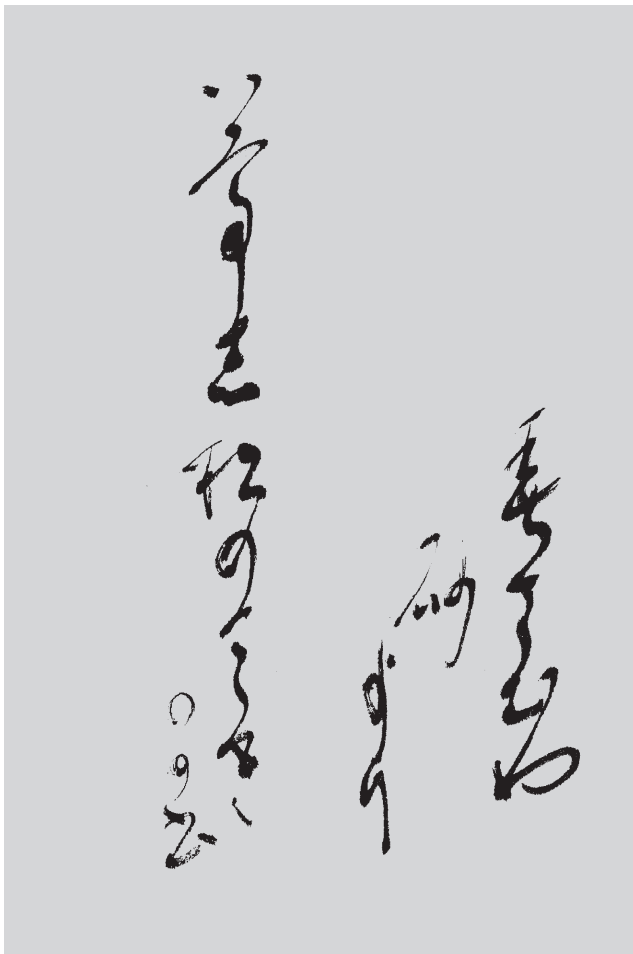
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

かな部課題参考 (二月二十二日締切)

漢字部課題参考 (二月二十二日締切)

予告 昇試第三部かな (三月二十二日締切)

音のして椿落ちたる笹の中 (鬼史)

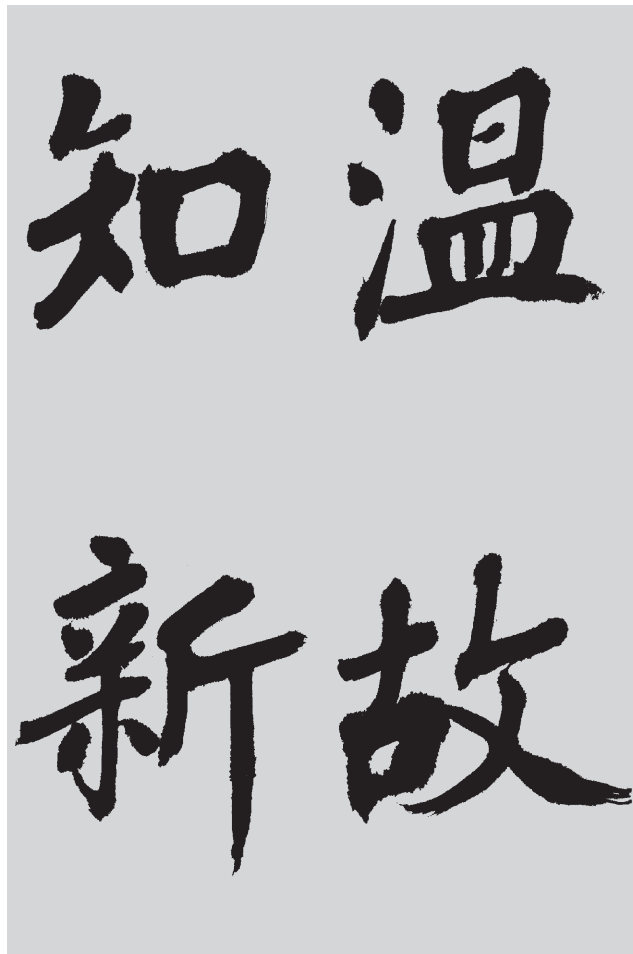


平岡華雪先生書
春寒や砂より出でし松の幹 (虚子)
春さむや砂よりい亭志松の三き

右群「春さむや」四字連綿、「砂」に対して「より」を左に添え別物にならぬよう留意したい。左群「い亭志」三字の連綿、一般的には渴筆の部分。墨を継ぐ場合は「松」が適切ですが、ひと筆書きもあり。

予告 昇試第三部漢字 (三月二十二日締切)

詩向會人吟 (中峯広録)



平岡華雪先生書
故きを温ねて新しきを知る (論語)
訳：すでに学んだことをよく研究してこそ新しい道理がわかる。

「新」の「斤」一・二画の組み合わせ大切。落款は余白を工夫して書き入れる。



◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に①～④を記入し、作品左隅に貼付の上、出品して下さい。一般会員は無料、会員外出品料は460円。

①出品部門(例:「漢字部」「かな部」) ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三体課題参考 (二月二十二日締切)

漢字かな交じりの書課題参考 (二月二十二日締切)

予告 昇試第二部漢字 (三月二十二日締切)

雲水絶歸路 (項斯)



町田煌月先生書

起塔寺門前 (項斯)

塔を起つ 寺門の前。

訳…自分の骨を埋める塔を寺門の前に建てた。

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。



水貝潮華先生書

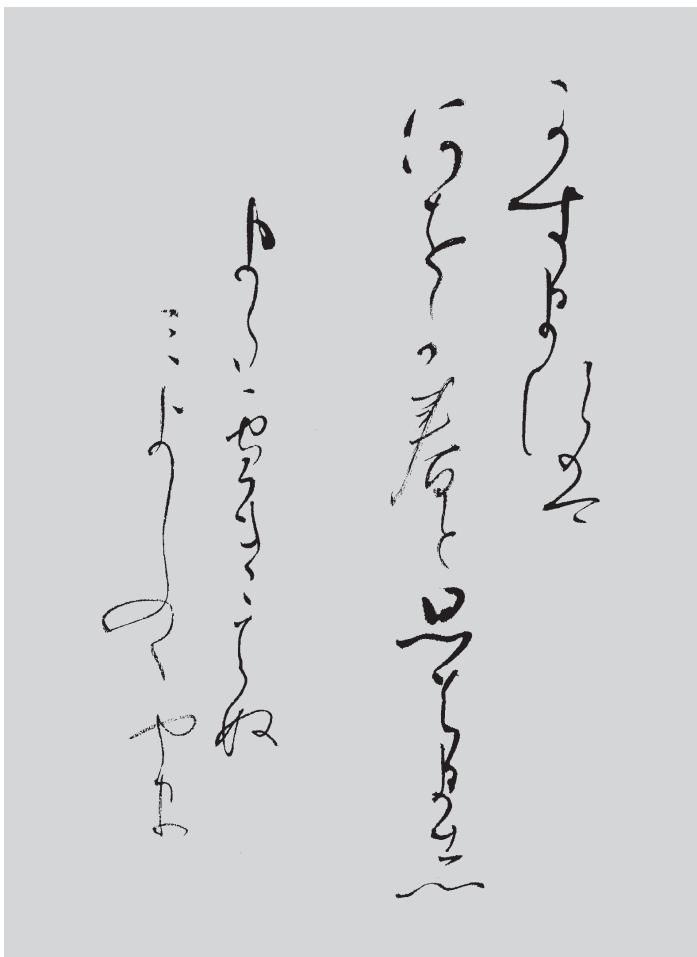
孤愁 鶴を夢みて 春空に在り

(孤愁夢鶴在春空「漱石詩注」夏目漱石)

(1)出品料550円 (2)バーコード券余白に「漢か」と記入

随意部参考

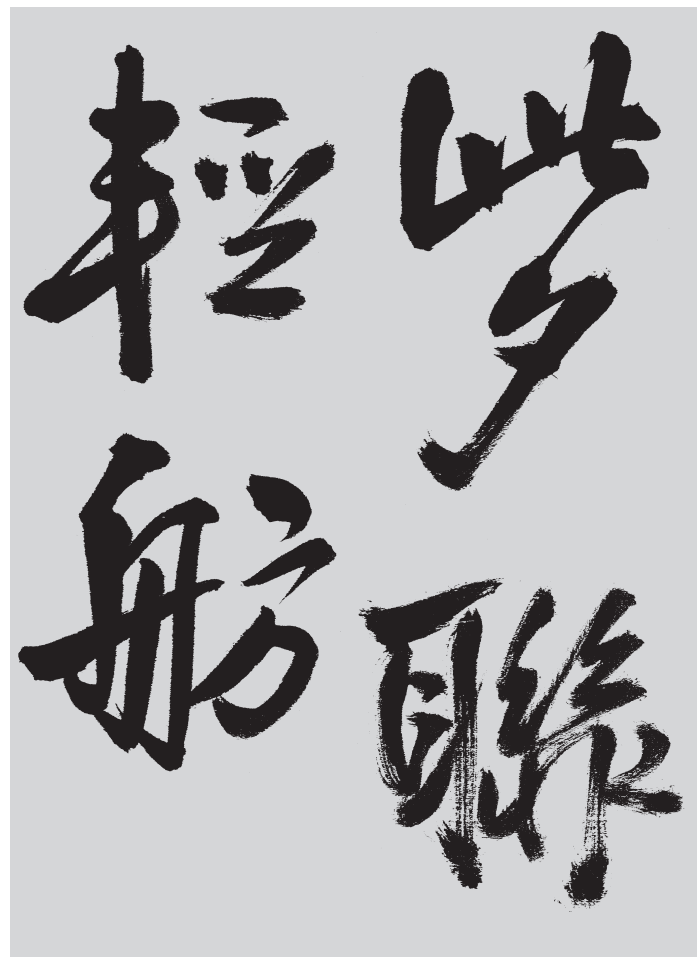
予告 昇試第二部かな (三月二十二日締切) さくら花日ぐらし見つつ今日もまた月まつほどになりけるかな (橋為伸朝臣)



高塚竹堂先生書

かすま^かずは^かな^かに^かを^かか^か春^かとおも^かは^かまし^かまだ^か雪^かき^かえ^かぬ^かみ^かよ^かしの^か山^か (山家集 西行)
可^かす^か末^か須^か盤^か何^かを^か可^か春^かと思^か者^か末^か志^か末^か多^か雪^かき^か衣^かぬ^か三^かよ^かしの^か、^かや^か末^か

随意部参考



王鐸

此夕聯舫。
此の夕^{ゆづ} 輕舫^{かたふね}を^つ聯^づね、

(二玄社)

(7)

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

硬筆部 課題参考

(二月二十二日締切)

一般部

湯澤春翠先生書

石原春香先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)

植物が好きであるために花を見る事が
何より楽しみであって厭く事を知らない。
まことにもって幸せな事だ。

花に對すれば常に心が愉快でかつ美
から心情を感じずる。故に独りを樂しむ
事が出来、あえて他によりする必要を
感じない。 『牧野富太郎自叙伝』

課題 1 (初段階以上)

花に對すれば常に心が愉快でかつ美なる心情を感じずる。故に独りを樂しむ事が出来、あえて他によりする必要を感じない。

『牧野富太郎自叙伝』

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (2) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (3) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題 2 (初段階以下)

植物が好きであるために花を見る事が何より楽しみであって厭く事を知らない。まことにもって幸せな事だ。

『牧野富太郎自叙伝』